

## 株式会社アシックス第2回無担保社債の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：飯田 浩一）は、株式会社アシックス（以下「アシックス」といいます。）が発行するサステナビリティボンド（以下「本サステナビリティボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本サステナビリティボンドは、国内初となる公募サステナビリティボンドとなります。本サステナビリティボンドで調達された資金は、全額がアシックスのスポーツ工学研究所の研究費用等サステナビリティに資する次の適格プロジェクトに充当される予定です。

- 1) アシックススポーツ工学研究所の研究費用
- 2) 介護予防事業 Tryus（トライアス）の開設・運営費用
- 3) ASICS KIDS GINZA の開店設備・工事費用
- 4) 山陰アシックス工業株式会社の工場棟の増改築費用および米国ミシシッピ州配送センターの屋上ソーラーパネル設置費用

アシックスは、本サステナビリティボンド発行のために国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会（Green Bond Principles Executive Committee）により策定されている「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2018」、「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2018」および「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2018」に則したサステナビリティボンド・フレームワークを策定しました。本サステナビリティボンドに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（R&I）から「R&I グリーンボンドアセスメント（サステナビリティボンド セカンドオピニオン）」<sup>\*1</sup>において、当該フレームワークがグリーンボンド原則 2018、ソーシャルボンド原則 2018 およびサステナビリティボンド・ガイドライン 2018 に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、2017年に資本市場におけるお客さまのESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みを支援するため、サステナブル・ファイナンス・デスクを設置しました。加えて、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NPOであるClimate Bonds Initiative<sup>\*2</sup>とパートナー契約を締結しています。

これらの取り組みにより、当社はグリーンボンドの引受けおよび販売を通じ、さまざまなお客さまの環境に配慮した活動および社会貢献への取り組みを全面的に支援

しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みを全面的にサポートし、社会の持続的な発展に貢献するべく、最良のサービスを提供してまいります。

以 上

- ※1 発行体等が定めるサステナビリティボンドのフレームワークが、サステナビリティボンド・ガイドライン等に則しているかを評価するものです。なお、個々のサステナビリティボンドについて、サステナビリティボンド・フレームワークに則ったものとなっているか確認を行います（発行額や期間等を踏まえた確認）。
- ※2 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。